



みなさんの生活や想い、行動にも
何か変化がありましたでしょうか？

2015.2.11開催 しあわせ会議のようす（桜座）

まじめに、おもしろく、みんなでつくった総合計画も折り返し地点。

5年間、町民一人ひとりの「やってみよう」という気持ちが存分に発揮される

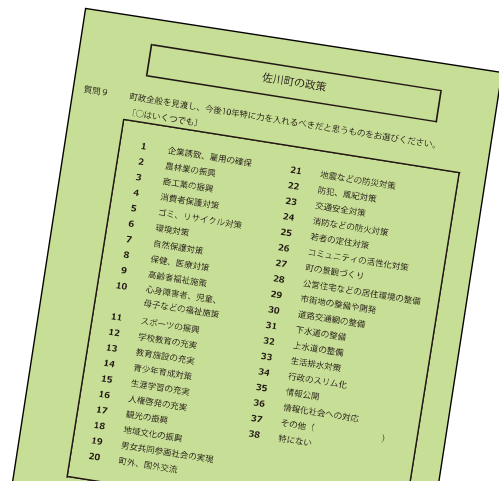
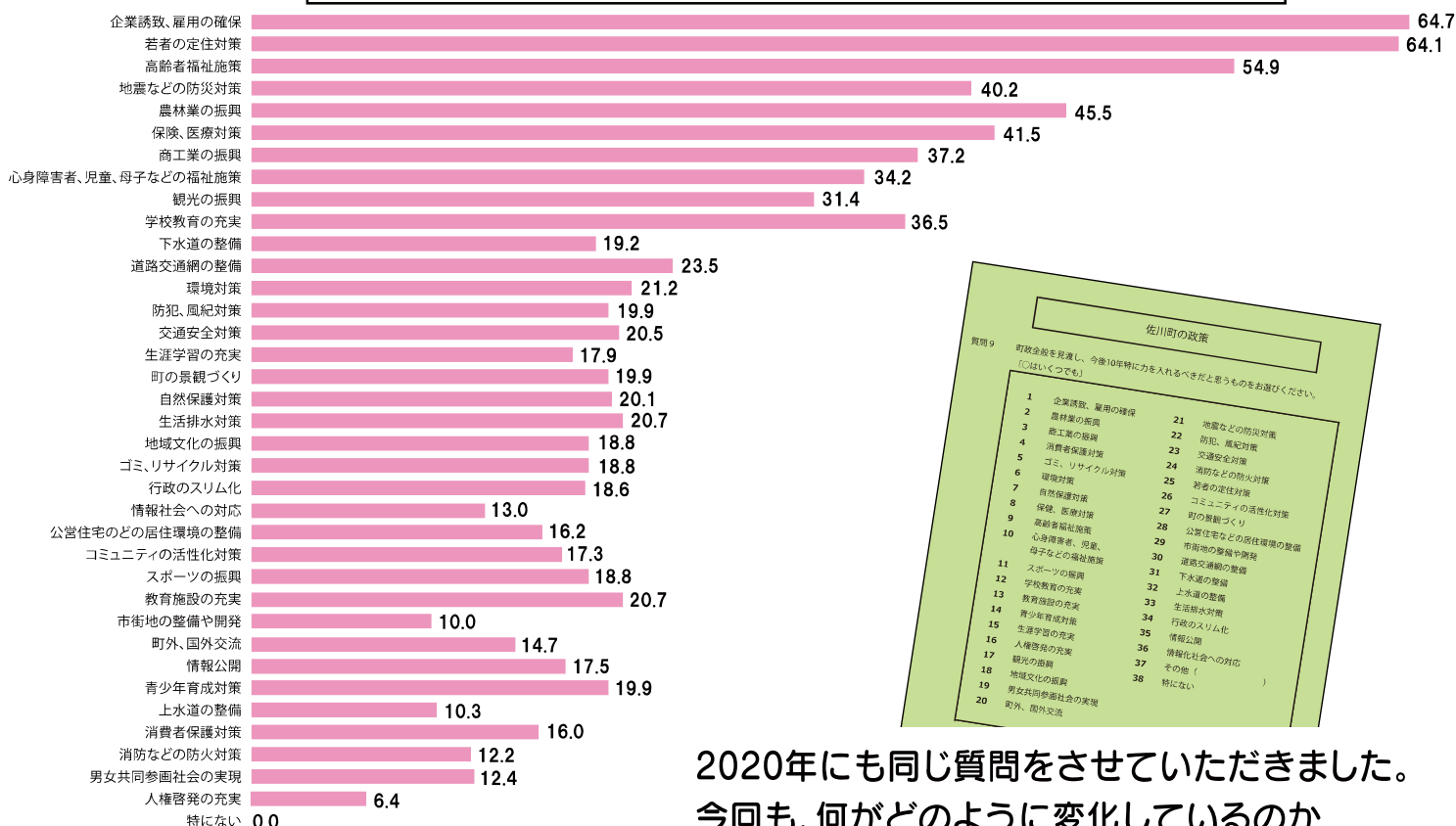
まちづくりに「チームさかわ」で取り組んできました。

こうした様々な取り組みの”今“を3回にわたって紹介しています。

今月は③「結婚・出産・育児」④「観光振興・情報発信」について。

2014 年 みなさんをお願いしたアンケートのひとつです。

質問：町政全般を見渡し、今後10年特に力を入れるべきだと思うもの



2020年にも同じ質問をさせていただきました。
今回も、何がどのように変化しているのか
見ていきたいと思います。

③ 広報さかわ R3.8

みんなでつくる 第5次佐川町総合計画

中間報告 2



7月号

①教育
②産業と仕事

8月号

③結婚・出産・育児
④観光振興と情報発信

9月号

⑤健康と福祉
⑥安全・安心
⑦行財政

広報さかわ

8月号

令和3年8月1日発行

今月の表紙



さかわの美味しい夏がやってきた！今年も地元食材を使った想像もできないような、わくわくのかき氷ができました。「さかわのかき氷街道」も開催されていますので、みなさんもぜひ食べに来てください。佐川町の魅力がいっぱい詰まったかき氷で、今年も暑い夏を笑顔で乗りきりましょう。

PICK UP CONTENTS

- P 2 〔特集〕
総合計画 中間報告2
- P 8 高北病院
- P 10 子育て・健康応援ページ
- P 12 おしらせ
- P 25 地質館だより
- P 28 ボタニカルニュース
- P 29 青山文庫だより & 文芸
- P 30 さかわ観光協会
- P 31 さかわ発明ラボ
- P 32 としょかんだより
- P 33 学校だより-斗賀野小学校-

広報さかわ R3.8 ②

～地域で取り組む子育て～ ファミリーサポートセンター

会員登録制による乳幼児や小学生等の預かりや保育所の送迎を行う相互援助事業。会員には、子育てをサポートする「まかせて会員」とサポートを必要とする「おねがい会員」があり、年々増加しています。しかし、登録会員数と比較して実際に利用、実働した会員は、それぞれ2割程度にとどまっています。このため、積極的な利用が呼び掛けられていますが、現行制度の課題を検証するなどして改善に取り組むことが必要です。



ウッドスタート事業

子どものころから木に触れることで豊かな心を育む「木育」の取り組みを進めるため、乳児に町産材で作られた「積み木」がお誕生祝としてプレゼントされています。



結婚から子育てまでの段階ごとの情報が、24時間いつでも得られるようICTを活用したサービスです。病院、救急情報や子どもと一緒に楽しめるお出かけスポット、各種手当・支援の情報なども掲載されており、利用者は年々増えています。

〈知りたい〉	〈相談したい〉	〈交流したい〉	〈困ったときは〉
親と子どもを支える制度や情報を案内	妊娠期から子育てまでのお悩み相談窓口	子育て世代とつながる情報を案内	総合的なサポート機関を紹介
・ひとり親家庭への支援制度や乳幼児健康診査など	・子育て支援拠点『子育て世代包括支援センター』などの情報	・佐川町どんぐり会、児童館活動事業「わんぱく広場」など	・小児救急電話相談など



子育て世代包括支援センター

県外から移住し、近くに縁者もおらず、実家にも帰ることもできなかったのですがいろいろとサポートを受けながら安心して出産できました。産後も経験豊かなヘルパーさんが自宅まで来てくれて、本当に助かりました。

新人ママの声

保育園前後の隙間時間に預かりや送迎があり仕事を続けることができるのでありがたい。

手続きがもっと簡単で、迅速にサービスを受けれるようにしてほしい。

2020

今後10年、特に力を入れるべきだと思うもの（結婚・出産・育児関連分野）

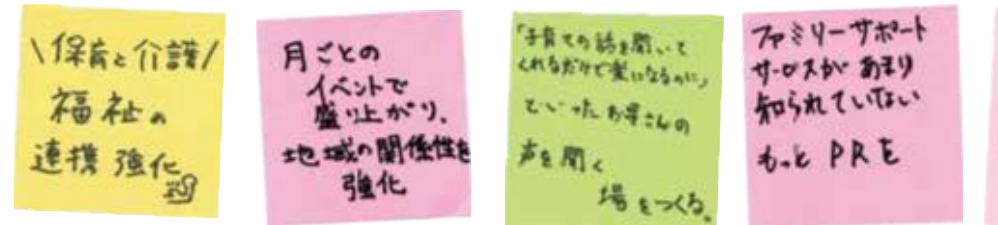
若者の定住対策	46.8	64.1
保険、医療対策	35.7	41.5
心身障害者、児童、母子などの福祉施設	31.5	34.2
コミュニティの活性化対策	17.3	17.4
男女共同参画社会の実現	9.6	12.4

2014

結婚・出産・育児という限られた期間のことからのためか、大きな変化はありませんが徐々に改善されているようです。

2014

みなさんから寄せられた ご意見やアイデア。



～結婚から子育てまでを切れ目なく応援～

佐川町では平成29年に「子育てしやすいまち宣言」を行い、「出会い～結婚～妊娠～出産～子育て」までを切れ目なく支援する体制を構築し、地域ぐるみで子どもを育てる環境整備を進めています。一方で、出会いや子育ての応援には、なお一層の町民のみなさまのご協力を必要としています。



子育て世代包括支援センター
平成30年に開設された、子育て世代包括支援センター。健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産・子育てができるよう「かわせみ」内に設置されています。常駐する母子保健コーディネーター（保健師）や、管理栄養士・歯科衛生士・保育士が相談にのりますので、お気軽に訪ねてください。毎週水曜日は永野保育所でも開設されています。



子供と安心して遊べるよう、ままごとコーナーや赤ちゃんコーナー・絵本コーナーなども設置されています。戸外遊びもできますよ。



牧野富太郎博士のふるさと佐川町は まちが“まるごと植物園”？

町全体を植物園に見立て、町民が行う植物に関わる活動を通じて人々がつながりあう「植物が中心にある町」を目指した取り組みです。牧野公園から家の鉢や庭、店の軒先や地域の花壇など、“育てるを楽しむ”場所に立てることができるロゴプレートは、まさに「まち」が「まるごと植物園」のように広がるシンボル。令和2年2月のスタート以来、既に100か所を超え、町内の至る所で見かけるようになっています。



まちまるごと植物園

～上町観光も人気上昇中！～



かつて佐川の観光といえば、極めて短い花見の期間に限られていましたが、白壁の酒蔵群や旧商家などの街並みに加え、佐川文庫庫舎、牧野博士の生家、名教館の移築や再生が行われ、上町の魅力が一層高まっています。牧野公園も桜だけでなく博士ゆかりの植物が数多く育てられ一年を通して楽しめる公園になりつつあります。

佐川の魅力発信！
インスタグラムやフェイスブック・YouTubeによる情報発信を強化するとともに、
「ZiRo」を使用した即時性の高い双方方向での情報提供のシステム作りに取り組んでいます。



高知県佐川町 まじめに、おもしろい365日
1 May - 5
// 1年中「いちご」が食べられる町を目指して！//
皆さま、もうすぐ「いちご」のシーズン終盤を迎えますが、今年はどう食べましたか？「いちご」のシーズンは12月から5月のイメージですが、来年からは1年中「いちご」が食べられるようになるかもしれません！
佐川町は、高知県内でも有数のいちご産地として有名で、県外にも多くのファンの方がいらしています。ですが、皆さまにもっと「佐川いちご」を知ってもらいたいため、NTTなどと協力し、ICTを活用した「いちご」栽培に挑戦します！
佐川町は、植物を中心としたまちづくりを推進し、「まちまるごと植物園」を目指します！皆さま、ご期待ください！

2020

今後10年、特に力を入れるべきだと思うもの（観光振興と情報発信分野）

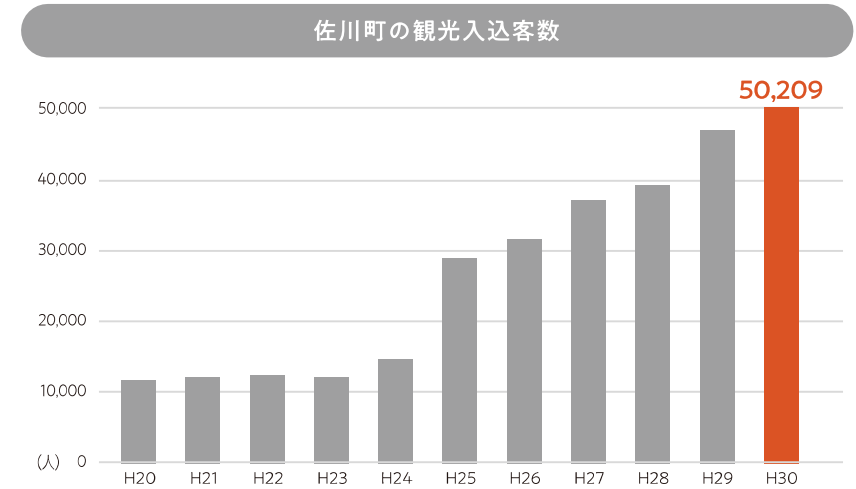
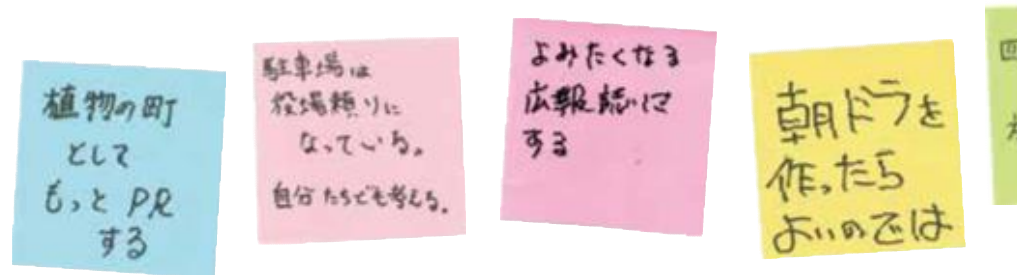


観光の分野では大きな変化はありませんが、情報化社会への対応に関しては早急な対策が望まれています。ICTのインフラを含めしっかりと整備していく必要があります。

⑦ 広報さかわ R3.8 次回は、⑤「健康と福祉」⑥「安全・安心」⑦「行財政」について紹介します。

2014

観光振興と情報発信に関して 寄せられた、ご意見・アイデア。



町民パワー炸裂！観光客が大幅増加！
観光振興

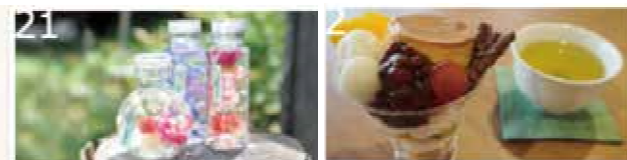
観光入込客数は、近年上町の歴史的風致地区を中心に大幅に増加。その原動力になっているのは、「くろがねの会」や「牧野公園はなもりC-LOVE」をはじめ町民の方々の活躍です。また、佐川観光協会や仁淀ブルー観光協議会が実施するイベントやツアー誘致も大きく貢献しています。さらに、「わんさかわっしょい体験博」や「うえまち駅」などの新たな施策や施設整備も進んでおり、令和5年に予定される「まきのさんの道の駅佐川」の開業を契機に一層の飛躍が期待されています。



町歩きガイドをおこなう「くろがねの会」



牧野公園で植栽中の「牧野公園はなもり C-LOVE」



令和元年からは、町民の方々が様々な体験メニューを提供する「わんさかわっしょい体験博」が始まり、これまでに合計626人の参加者を集めました。この取り組みは注目をあび、町外へと広がりをみせています。

広報さかわ R3.8 ⑥